

令和元年度 施策評価表

施策	0502	スポーツの振興	施策担当部等	市民環境部	部長	杉野 幸夫
			施策担当課等	スポーツ振興課	課長	尾曲 芳行
施策の方針	スポーツへの参加促進や指導者の育成を図り、生涯スポーツ及び競技スポーツを推進する。また、スポーツ施設を充実するなど、誰もが気軽にスポーツに親しめる環境を整える。					

【DO（実施）】 基本計画における目標値

指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	R1目標値	R2目標値	H30年度	
			H28実績値	H29実績値	H30実績値	R1実績値	R2実績値	達成率	進捗率
① スポーツイベントの年間参加者数	人	5,488	6,600 6,205	6,900 6,406	7,100 6,088	7,300	7,500	85.7%	81.2%
② 公認のスポーツ指導者登録数	人	152	158 164	161 158	164 156	167	170	95.1%	91.8%
③ スポーツ競技団体の加入者数	人	9,259	9,450 9,019	9,600 9,110	9,750 8,729	9,900	10,000	89.5%	87.3%
④ 成人の週1回スポーツ実施率	%	54.1	55.9 53.8	56.2 51.8	56.5 49.8	56.8	57.0	88.1%	87.4%
⑤ 体育施設の年間利用者数	人	439,954	442,000 449,022	444,000 436,568	446,000 453,889	448,000	450,000	101.8%	100.9%

施策達成状況の説明

- ①市民スポーツ大会に新しくサッカーPK競技を追加し、前年度よりも市民スポーツ大会の参加者数は約50名増加したが、スポーツイベント全体の年間参加者数は目標を下回った。
- ②公認指導者は、単位スポーツ少年団に最低2名を必要としている。スポーツ少年団に登録を呼びかけたが、目標を下回った。
- ③初心者教室やスポーツ医科学講習会等を開催し、積極的に普及・啓発に努めたが、目標を下回った。
- ④週に3回以上の実施率は増えたが、週1回及び2回の実施率は減少し、目標を下回った。
- ⑤屋外体育施設19施設中11施設が昨年度よりも利用者が増加し、目標を達成できた。

施策経費

(単位:千円)	H30年度 決算	R1年度 予算	R2年度 見込	特記事項
	事業費	311,930	310,483	
内訳				
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	42,002	50,229	45,181	
一般財源	269,928	260,254	274,665	
人件費	36,252	36,764	-	
フルコスト	348,182	347,247	-	

施策の概要

050201	スポーツへの参加促進	生涯を通して気軽にスポーツを楽しむことができるよう、市民スポーツ大会、ロードレース大会など、子どもから高齢者まで誰もが気軽に参加できる市民参加型のスポーツイベントの開催や、地域のスポーツ大会などの支援を行います。
050202	指導者の育成	生涯スポーツの担い手となる指導者の育成を図るため、日本体育協会公認資格などの取得支援や、県と連携した研修の充実による指導者の育成、確保に努めます。
050203	競技スポーツの推進	競技力の向上を目指し、市体育協会と連携し競技スポーツ団体の育成を図り、優れた指導者や競技者の養成に努めます。 また、全国レベルの大会やスポーツ合宿を誘致するなど、多様な交流を通じた競技力の向上を図ります。
050204	スポーツ施設の充実と利用促進	市民のスポーツ活動の場となるスポーツ施設の充実を図るため、総合運動公園の早期整備や老朽化した施設・設備の計画的な改修と適正な維持管理に努めます。 また、スポーツ施設の利用促進を図るため、適切な運営管理を行うとともに、予約システム等の充実を図ります。

【CHECK (評価) 施策担当部長】

<p>施策を達成する上での問題点・課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽化しているスポーツ施設が多く、可能な限り施設改修に努めているが、突発的な大きな故障や不具合等が発生した場合の対応の迅速化が課題である。 ・ 高齢化が進む中、高齢者がスポーツに親しむ機会はあるが、若年層から働き盛り世代のスポーツへの参加促進が課題となっている。身近にスポーツに親しむ環境を整える必要がある。 ・ スポーツイベントの年間参加者数の目標値を達成するために、毎年定期的に開催している市民スポーツ大会等のスポーツイベントにおける競技について再検討する必要がある。 ・ 競技団体やスポーツ推進委員などの協力により、スポーツイベントの開催などスポーツ振興を図っているが、活動の中心となる人が高齢化し後継者育成が課題となっている。 ・ 令和2年に開催される東京オリンピックを控え、スポーツに対する関心が高まっている中、スポーツを通じた地域の活性化、国際交流などを図るため、県や県スポーツコミッションとともに、さらなるスポーツ合宿の誘致に努める必要がある。
-------------------------	---

【CHECK (評価) 評価調整委員会】

--

【ACTION (改善・改革)】

<p>問題点・課題を踏まえた施策構成事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ施設利用者に対して、快適で利便性が高い施設を提供できるよう、必要な改修等を行い、整備を進めていく。また、市のスポーツ施設の中長期的な整備改修計画を策定するため、アセットマネジメントによる計画と整合性を取りながら、整備改修計画を進めていく。 ・ スポーツイベント開催事業について、スポーツ人口の拡大のため実施している市民スポーツ大会の種目等が市民のニーズにあっているか精査し、内容を検討しながら、スポーツに親しむ環境を広げていく。 ・ スポーツ振興事業について、スポーツ推進委員協議会と連携し、ニュースポーツを積極的にPRし、スポーツ初心者などがスポーツに親しむ機会を作りスポーツ人口の拡大を図る。 ・ 東京2020オリンピック・パラリンピック事業について、ベトナムバドミントンチーム及びポルトガルトライアスロンチームの事前キャンプ等の受入れ及び聖火リレーを市内で実施することで、スポーツに対する関心を高め、スポーツを通じた国際交流及び地域の活性化を図る。
---	--

令和2年度新規事業

	事業名 (仮称)	担当課	R2年度見込	対象・事業概要など
			事業費 (千円)	
1				
2				
3				
4				
5				
			0	